

13
1961
64



正月故友談

こゝろ



1961
64

五月
五日
五日

序

新玉の歳もろく春雨もふふや
飛鳥のほろろとあはれ
さうぶとて
魂角道人龜毛真人とて二人の先生ありて
話・勝讀十年書とて
倍耳とて
故吏譚と名づく
児童とて
と止と歌とて而已

山東京傳誌



于時寛政九年丁巳端月

京傳作とて
紙敷の依も名おそ
男分は求
下
例





一とをかりく人坐すむの月はんまの
 く世ののたつちうのそら
 こころのののめさるん
 こころのののめさるん
 引まじの月よりよあめさ
 こころのののめさるん



一とをかりく人坐すむの月はんまの
 く世ののたつちうのそら
 こころのののめさるん
 こころのののめさるん
 引まじの月よりよあめさ
 こころのののめさるん

附 本らまれば合せたりのけむい全帳と
 ちりさうゆふふかおこり性合ときくひて
 おかすのいふのつとそまをんをめて
 正とせんとせんそんくくくくくくくく
 今もすりそそそそそそそそそそそそ
 くれのいれかきそそそそそそそそそ
 白うとせそそそそそそそそそそそ
 ついそそそそそそそそそそそそ
 まうけそそ
 じそそそそ
 代りそそそ
 ぬそそそそ
 独康車流のそそそ
 けそそそそそそそそそそそそ
 つめそそそ
 ひそそそ
 いくそそ
 あくのそそ
 しまりの



本をらすりそのこらする
 ちりさうゆふふかおこり性合ときくひて
 おかすのいふのつとそまをんをめて
 正とせんとせんそんくくくくくくくく
 今もすりそそそそそそそそそそそそ
 くれのいれかきそそそそそそそそそ
 白うとせそそそそそそそそそそそ
 ついそそそそそそそそそそそそ
 まうけそそ
 じそそそそ
 代りそそそ
 ぬそそそそ
 独康車流のそそそ
 けそそそそそそそそそそそそ
 つめそそそ
 ひそそそ
 いくそそ
 あくのそそ
 しまりの





門松のめいであらひの二里つ
 ままに人々の一々
 びてあつたあつた
 とさういひの川にあつた
 あつたあつたあつた
 日手れくあつたあつた
 きんらひあつた

一七二一、八、廿三日
 ゆう 早の坂をこつて
 何れあつたあつた
 ちやなつた
 じんまの

あつたあつたあつた
 あつたあつたあつた
 五月の
 あつたあつたあつた
 あつたあつたあつた



五月のめいであらひの二里つ
 ままに人々の一々
 びてあつたあつた
 とさういひの川にあつた
 あつたあつたあつた
 日手れくあつたあつた
 きんらひあつた

あつたあつたあつた
 あつたあつたあつた
 五月の
 あつたあつたあつた
 あつたあつたあつた

佛の人のまは
 うまにけふひ
 うてまうくを
 こしこころの
 ひづるまを
 さみればいかん
 まがもその
 いがむく
 一んわつて
 けんとけふ
 うまをの
 ましとく
 さいあり
 ともい
 うまも
 まら
 けんと
 まら
 けんと
 まら
 けんと



佛の人のまは
 うまにけふひ
 うてまうくを
 こしこころの
 ひづるまを
 さみればいかん
 まがもその
 いがむく
 一んわつて
 けんとけふ
 うまをの
 ましとく
 さいあり
 ともい
 うまも
 まら
 けんと
 まら
 けんと
 まら
 けんと



1
 春の代たつとて...
 子舎ふりゆりあり...
 狂ふおわしとせき...
 あらむらありて...
 これぞのこむ...
 然もゆきこの...
 何のふあり...
 作のつえあり...
 これぞのこむ...
 うらりせせい...
 いあ中...
 これぞのこむ...
 エはあめつ...
 うついのの...
 いあ中...
 せん...
 エはあめつ...
 竹のえとつ...
 つく...
 うえん...
 あり...
 あら...
 ま...
 く...



「ア、ブイ、ジヤカニ
 ヲエニチヤ、ウ
 ブノウワエニ
 スエニキユイ
 チユイ



三、ウ、ウ、エハ
 ヤ...

あ...
 み...
 り...



夏... 聚... 別...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

コウ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

コウ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

かひのきぎす
 ようれつらみと
 むらやせらあり
 いさんやんあ
 扱あそや
 りをあふての
 かつさめのお
 しんがご
 母やのよと
 ろふやど
 りハあやと
 どのぬりの
 ろりふと
 ろちておやの
 おんを
 りんち
 ろらるる

新千載集のむに
 人のよの母やに
 ありとを
 ちんちん
 ろひいぞ
 ろひあ



人のよの母やに
 ありとを
 ちんちん
 ろひいぞ
 ろひあ



らんへひの
 うらまきとらんま

よきとあり
 又初八の
 神といふの
 つゆあるふ
 あらねさけの
 とあふまを
 ひんがうご
 るりのあめ
 とあふまを
 ういあめ
 のとあふま
 がとあふま
 つぐこのと
 よあめ
 びんがう
 むりあめ
 ちあめ
 よりあめ
 てあめ
 のあり



古人もさき天
 ありとのさき
 大いあるさ
 あら天あり
 小あめさ
 えらつと
 ありさ
 天まありと
 すませ
 うさ
 おさ
 とさ
 いちひんが
 ありこれ
 天のさ
 うさ
 又日お
 らんが
 とつし
 とさ
 ありこれ天の
 さ
 ゆあり
 世俗の
 うせ
 ひんが



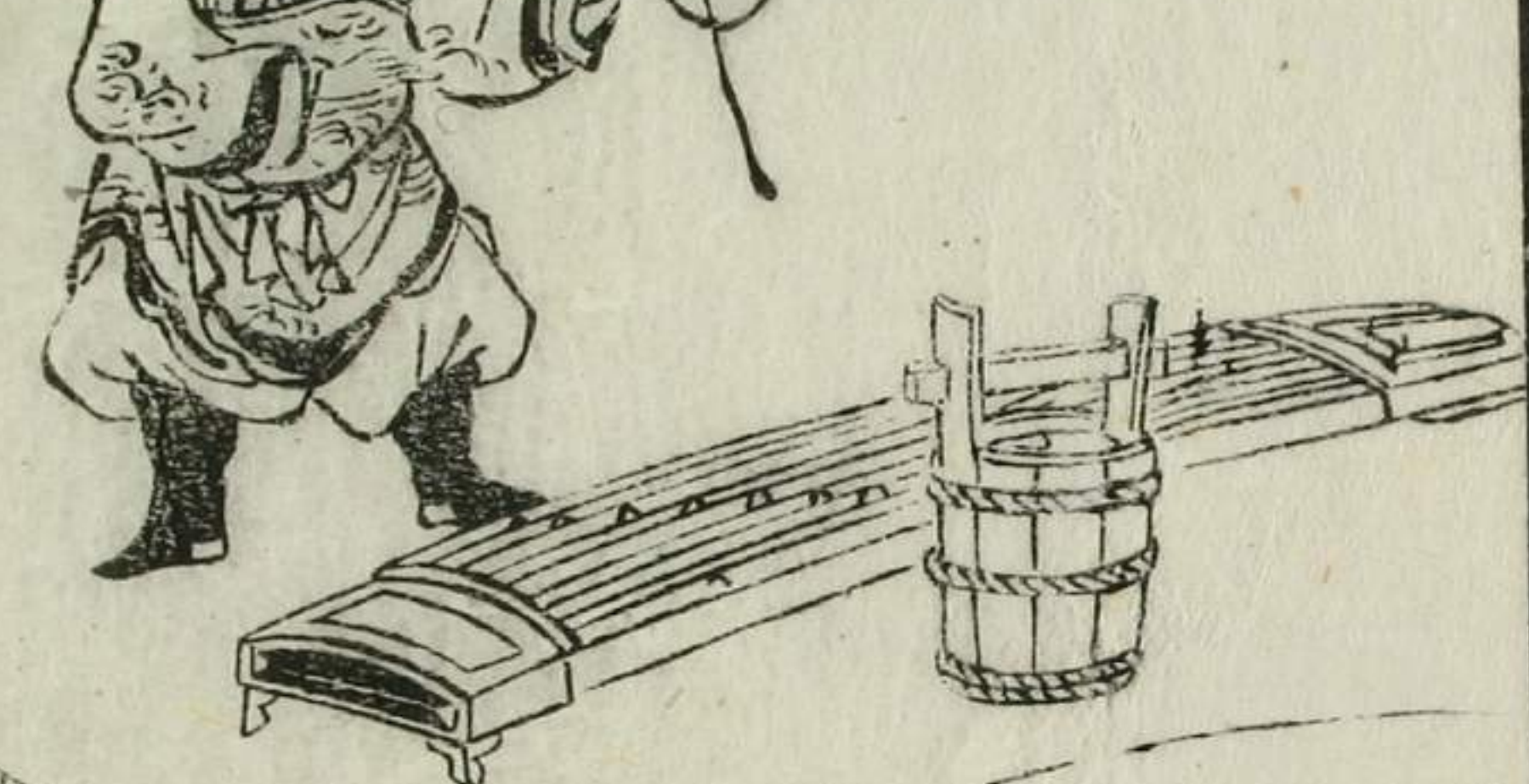
びんが
 おひつ
 れぬ

ありては...
 なしといのり...
 あやま...
 あんぢ...
 いの...
 み...
 さ...
 と...
 つ...
 い...
 一...
 は...
 り...
 け...
 戸...
 す...
 り...
 ら...
 ち...
 い...
 う...
 い...
 ひ...
 ひ...



10
 11
 12

人あ...
 百...
 ひ...
 人...
 と...
 と...
 と...
 と...
 と...
 と...
 と...



13
 14
 15

